

林檎

岩手Mac友の会

Vol.4, No.3 1992.6.20

Iwate Macintosh Funclub



Newton

米国アップルコンピュータ社は、5月29日、新しい技術である「Newton」(ニュートン)を、米国シカゴで行われている夏季コンシューマ・エレクトロニクス・ショー(CES)にて、初めて公開しました。この新技術は、1984年の発表以来定評のある、Macintosh(マッキントッシュ)の製品ラインに続く新製品群の中核を成すべく開発されたものです。

Newtonは、アップル社が「PDA」(Personal Digital Assistants: パーソナル・デジタル・アシスタント)と呼ぶ新系統の製品の一つです。

Newton技術を利用した最初の製品は、使う人のアイデアや情報を、インテリジェントに手に入れ、整理し、伝達することができる、電子手帳タイプの小型ポータブル機となる予定です。

これらは小型で携帯でき、ノートを取りったり、描画・計算・スケジュール管理・通信などの機能が用意され、いずれも形式にとらわれない自由な手書き入力が可能とのことです。

また、有線・無線の両方に対応する通信機能を内蔵し、Newton同士のスケジュール表や名刺の交換も可能で、Newton単独でも、電子メールを受け取ったり、通信衛星を利用するニュースソースに接続して最新の社会情勢や株価の動向を調べたりできます。

アップルの発表とともに、モトローラ、パシフィックベル、ランダムハウス、スカイテル、トラベリングソフトウェアの各社も、Newtonをサポートする意向を発表しています。

アップル社は、1993年前半より、最初のNewton(英語版)を出荷する予定で、これと時期を同じくし、シャープもNewtonの新製品を出荷する予定のことです。価格と容量は、はたしてどれくらいになるのか興味津々です。

これが一般的になると、この会も、名前を変える必要が有るかも?

第5回 IMF 総会

92年4月18日、盛岡市中央公民館において第5回 IMF 総会が開催されました。内容については次頁に紹介しておりますが、役員の改選は結果的に昨年度と同じ顔ぶれになりました。

あらためて今年一年よろしくお願いします。

最近のアップルコンピュータは、新製品を矢張り早く登場させ、我々を楽しませてくれますが、左記のように今後も我々を驚かす新製品が登場しそうですね。



Inside

総会報告	2
ようこそ! ビギナー分科会	4
米国だより	6
山の花	7
私の MacLife	8
林檎ギャラリー	10
光磁気ディスク	11
BBSのすゝめ	12
茶房	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16



予定外でしたが記念撮影を行いました（撮影：小松さん）

この写真はアップルコンピュータが日本のユーザークラブのために出版するガイドブックに掲載されます

総会報告

...By 野村行憲



1992年4月18日、盛岡市中央公民館において、第5回岩手Mac友の会総会が開催されました。

総会に参加された方々、忙しい中お疲れ様でした。

会長以下、世話人各位の多忙のため、当日の役割分担なども決めずに、ぶつけ本番ともいえる運営で、参加された方々にはご迷惑をおかけしたことと思いますが、何卒ご容赦のほどお願い致します。

当日参加できなかった方々のために、私から総会の内容をかいつまんで報告致します。

私は13:20頃に会場に着き、すでに到着していた（失礼しました！）アップルコンピュータの

吉川恵美（よしかわめぐみ）さんたちとともに、会場設営を開始しました。

世話人の到着が遅れたため、受付、司会、挨拶、事業報告、....と大変でしたが、

照井さんや、杉村さんのご協力で何とか総会を終えることができました。ありがとうございました。

さて、総会では次のことが決議されました。

（名前の敬称は省略させていただきます）

1. 新年度役員の選任

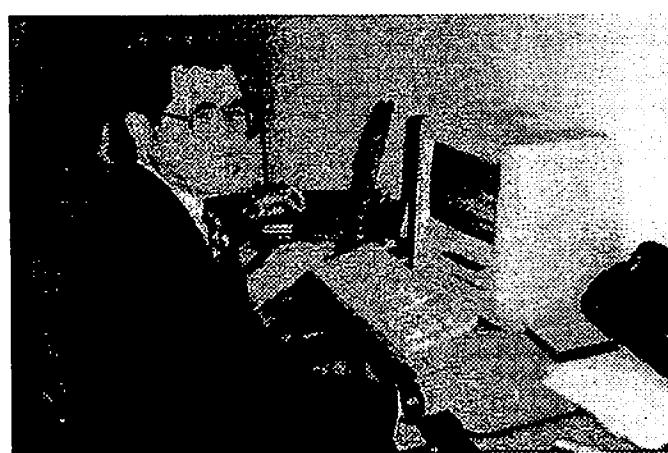
（昨年度役員の再任）

会長：野村行憲

会計：佐々木幸司

編集長：徳富亘

副編集長：照井芳夫



総会参加者の名簿を整理する照井さん

2. 年会費：3,500円

(途中入会者は、会報1号欠ける毎に
400円を減額する)

3. 会員の再登録

昨年までは特に本人から退会の申し出が無い限り会員として名簿に残していましたが、音信不通の会員が増加していることもあって、今回の総会を契機に、会員の継続意志を確認させていただき、連絡の取れない会員は、一端名簿から除名することいたしました。なお、いつでも再入会できます。

4. ピギナー分科会（仮称）発足

（連絡窓口：木村栄子、西島光茂）

Macintosh の初心者による初心者の為の情報交換の場を希望するとの意見が、西島さんから提案され、賛同が多くだったので、分科会を発足することになりました。

例月（5月）の例会でもう一度集まり、その後の具体的な活動を検討することにしますが、「毎月第2土曜日の午後にピギナー分科会を開催しては」という案が出ています。（例会を第2土曜日にして欲しいという意見があつたことを考慮したもの）

参加希望者

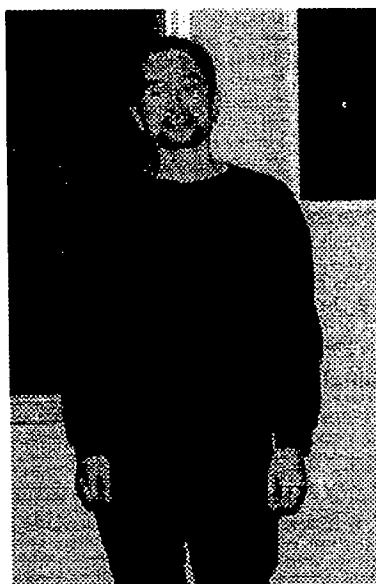
（総会当日の申込順、敬称略）

石田 宏、鈴木 卓、高橋真知子、
上山 雄、佐藤 学、西島光茂、
千葉雅之、田辺忠輝、八重樫祐成、
大塚英幸、中村純子、木村栄子、
佐々木光夫、横手 登



5. 記念講演

総会後、アップルコンピュータ（株）サービス＆サポート部の吉川恵美さんから、アップルコンピュータ（株）のユーザーグループの活動に対する支援などについてショート・プレゼンテーションをしていただきました。



にこやかに挨拶する徳富さん

今回の総会では、総会しか参加できない方々と久しぶりに対面できたほか、新入会員が多く参加されたことも特徴でした。ピギナー分科会（仮称）の発足は、ユーザー会の本質的な活動とも考えられることから、世話人会からも積極的に協力をするつもりですので、興味のあるかたは振るってご参加下さい。

最後になりましたが、世話人を代表して今年度の IMF の活動に対する会員の皆様のご協力をお願い致します。

Edited by



娘さんと仲良く参加の高橋晃さん



あちこちでマック談義に花が咲く

ようこそ！「ビギナー分科会」へ...

by 西島光茂、木村栄子

4月の総会に、Macintoshの初心者による初心者の為の情報交換の場を希望するとの意見が提案され、「ビギナー分科会」を発足することになりました。そこで、西島さんと木村さんに、分科会の趣旨や抱負を熱く語っていただきました。IMFの皆さんに「ビギナー分科会」の発足を知っていただき、会員相互の交流と、Macintoshを使いこなすかたになることを期待いたします。

さて、具体的な活動は例会とは別に日時と場所を決めて開催される予定ですが、現在会場等を交渉中ですので、決り次第BBSや例会にアナウンスされる予定です。

日時：毎月第2土曜日の午後（案）

会場：未定

活動内容：Excel入門、HyperCard入門、BBS入門など



ある産婦人科医の悩み

西島光茂

緒言 ゴルフを初めて約2年、いまだに100を切れない私は、Apple II-plus



から数えて11年、Macintoshを使い切れない私とどこか似ている。

AppleIIは良かった。何たってPFS(Personal Filing System)というソフトを買ってきて約2時間、抵抗のない厚さのマニュアルを読みながらやっていくうちに仕事ができてしまうんだから！

Macintoshはもっとすごいと思って買ってみたら、マニュアルがすごかった。しかし買ったんだから利用しなくては男じゃないと思い、その後もMore, EXCEL, File Maker, Stat Viewなどを購入して一生懸命努力しているにもかかわらず、雑誌に書いてあることやIMFの集まりに行ってみると何を言っているのかわからない。

目的 そこで、気が付いたことがある。それは、初心にもどり、かなり

具体的な目的をもって具体的な作業をしてみるといいのではないかと思った（公言するということは、どうしても何かしなくてはならない）。

具体的な目標として（可能とか不可能とかは深く考えないこととする）、今年はHyperCardで『産婦人科-最新網の目知識体系』なるものを作成することにした。

方法 「これはどうすればいいのか？それはどういうことなのか？」を繰り返すことにした。

しかし、一人ではここ約10年と同じ時を過ごしてしまうので、同じ様な悩みを持っているかたがたにお願いしたい、「これはどうすればいいのか？それはどういうことなのか？」の会をもって野村さんやその他の詳しい人に悩みを解決してもらいませんか？

成績と考察、結論と謝辞などは来年にでも公表したいと考えております。

忘れておりました、最後になりましたが自己紹介をさせていただきます。

略歴

住所：盛岡市上田1丁目19番11号

学歴：

昭和49年：岩手医科大学医学部卒業

医師国家試験合格

昭和53年：同医学部大学院卒業

医学博士

職歴：

昭和56年：岩手医科大学医学部助手

昭和60年：ベルリン自由大学

周産期研究所客員研究員

昭和61年：岩手医科大学講師

平成3年：岩手医科大学退職

平成3年10月：西島産婦人科医院院長

平成4年1月：同医院新築開業

役職：

日本新生児学会評議員

日本母性衛生学会評議員

日本臨床栄養学会評議員

日本周産期学会幹事

初心者分科会へ参加予定の方

石田 宏

大塚 英幸

上山 輝

・木村 栄子

佐々木 光夫

佐藤 学

鈴木 卓

高橋 真知子

田辺 忠輝

千葉 雅之

中村 純子

西島 光茂

八重樫 祐成

横手 登

(敬称略)

ビギナーズ分科会へ 「あなたもどうぞ....」

木村 栄子

Mac IIciが我家の居間に居座って、丁度一年が過ぎた。このMac君との出会いのエピソードはまたの機会にゆずるとして、私は入手以来、大変な気に入り様で、3~4か月この彼(?)の前に座りつきで過ごしたものでした。そして、カルチャーショックにも似た感覚は、考え方や生活の仕方にさえ、確実に大きく影響を与えて来ている様に思う。コンピューターがこれほどまでに人間的(?)だったなどとは思っても見なかったことです。難しいものと決め込みまず、もう少し早くから付き合ってたら良かったなど、今になってつくづく思う。

私の一番嫌いな数字。たとえば算盤でも電卓でも、3回やって3つの答えが出るものと決めていた私ですからMacが一瞬に加算し、現在最も瞬時で解かるというのには、もうすっかり上機嫌。もっとも初めはSUMを一行一行覚えさせ「こんなに時間がかかる筈がない。」と思いつながらも、よくもまあ、入金台帳やら経費帳ができたものだと、今になって感心している。「ど

こかにMacの学校があったらな~」と何度も思ったことか。でもMacは初步なら初步なりに使えるということをよく分かった。

とはいって、関数ペーストではSUMだけ、あとは種々の書式やら表などは本当によく作った。塾の月謝袋を表作



りし、市販のクラフト封筒にコピーし、その出来ばえに大満足とか。時にハイパーカードを開けたら閉じれなくなって、あせったり。コワ~い「バックダン」マークには本当に驚いたものです。

いろいろ分かってくると、Macの能力に対して、「私は何パーセント活用出来ているのかなー」と、ふつと

思ってしまう。おそらく0.001にならないでしょう。もっと使ってやらなきゃ、折角この世に生まれたMacにも氣の毒だ!!と思うのと、いろいろやりたい事でいっぱいなのだけど、焦っても仕方がないことも身にしみて感じさせられている。でも数時間かけてやったことが、ちょっとした操作であつという間に出来ると分かった時の、単純には喜べない「あの」気持ち。初心者同士の情報交換の場があつたらと心から感じていたものです。ですから、忙しさでしばらく出れないでいたMacの会でしたが、多くのビギナー会員が新しく仲間入りしているのを知り、「機は熟せり」の思いでビギナーズ分科会を提案させていただいた次第です。

初等英語教育に少しばかりたずさわってきた私は、アメリカの教材のソフトカタログに魅せられ、「いつか使えたたら...」との思いでMacにしたのだった。子供達の外国との通信も夢ではなくなるのでは...と胸を膨らませている訳です。ビギナーを返上するためのビギナーズ分科会へ、大きな期待で、あなたも集合して見てください。



Edit by Takahashi



IMPERIAL COLLEGE at SILWOOD PARK

Department of Biology
Ascot, Berks SL5 7PY Telephone: 0344 23911
Facsimile: 0344 294339
Direct Line: 0344 294—

野村行憲様

1992. 4. 29

拝啓

お元気でお過ごしでしょうか。Mac友の会では色々お世話になっております。申し遅れましたが、私は昨年11月から1年間の予定で英国に出張しております。総会の案内は4月の27日にこちらへ転送されてきましたので、会員継続の申し込みはできませんでした。本年11月には同じ職場に帰国予定ですので、その際、改めて会費の払い込みと会員継続の手続きを行いたいと思います。

さて、私は英国でも相変わらずMacを愛用しております。研究データや原稿など、すべてMacで処理しておりましたので、いまさら他のコンピューターに乗り換えるわけにも行かず（新しくNotebookを買うほど豊かではありません）、結局電圧変換器を使って日本から持参したMacPlusで仕事を続けています。渡航前に木津屋さんから外部電源のいらないハードディスク（Mac本体のフロッピーポートから電源を取るタイプ）を購入し、重宝しています。

日本の職場ではレーザープリンター（Microline801PS）を利用していましたが、職場で買ったもので持って行くわけにもいかず、こちらで改めてStyleWriterを買いました。大学にいるので、特別割引があり（定価の3割引き）、7万円ぐらいでした。英国では15%の付加価値税があるので、税金を除くと、ステップの価格と同じくらいだと思います。こちらへ来る知人に頼んでATM-Jを買ってもらいい、低価格高品位出力に挑戦しました。ATM-Jはなかなか優秀で、ローテーションせても文字が崩れず、StyleWriterを使えばLaserWriterと同程度の美しさで印字できます（StyleWriterで印字するときは少し厚目の紙を使うとにじまず、美しく印字できました）。しかし、ATM-Jと私のGeminiアクセラレーター（68020と68881を載せています）とは当初相性が悪く、System6.0.7で起動すると、「予期されていないシステムトラップです」と言うメッセージが出てシステムエラーになってしまいました。仕方がないので、印刷するときだけ本来の68000モードに戻して使用していましたが、動作が極めて遅く、不満でした。ところが、しばらくしてSystem7.0で起動するとGeminiでも問題なく作動することを発見し、今ではGomTalkでSystem7.0に漢字Talkを組み合わせて使用しています。

印刷時間は、Geminiを載せたMacPlusでやれば、結構早く済みます。少なくとも、Laser-WriterでCanonFontを印刷するよりは速いです。英文のみならば、TrueTypeで極めて速く印字してくれます。英国では、改良されたPrinterDriver（印字速度が30%アップし、BackGround Printingもできる）と新しい7種類のTrueType Fontが販売店を通じて無料で配付されており、これでLaserWriter NTXに付属していたFontすべてがTrueTypeでも使えるようになりました。

英国でもMacは高いと言われ、大学ではIBM互換機が主流です。システムは米国と同じではなく、英国版（バージョンナンバーの先頭にBが付いています）のようです。ソフトも同様で、英国版（正規代理店経由）のものは米国のものより2-3割高くなっています。米国製品を安く直輸入している業者もありますが、こうしたものはGray Importedと呼ばれ、バージョンアップのサービスなどが受けられないと警告されています。確かにワードプロセッサなどは、英国と米国で綴りや用語が異なるので、英国版が必要でしょうが、グラフィックソフトなどは関係ないと思います。同じ英語圏でもこうした問題があるとは知りませんでした。また、こちらで売られている機種は、Classic、Classic II、SE30、LC、IIci、IIsi、Quadra700、Quadra900そしてNoteBookSeriesですが、4月からLCII（CPUが68030になったもの）が加わりました。IIfxはこちらでは売られていません。また、米国ではLCII発売と同時にLCは売られなくなり、LCIIの値段は以前のLCと同じになったそうですが、英国ではまだLCも売っています。同じコンピュータでも国によって販売事情が異なるようです。

以上、こちらのMac事情をお知らせしました。11月には、また日本でお目にかかると思います。友の会の皆様にもよろしくお伝えください。

敬具

本多健一郎（東北農業試験場）

Professor R.M. Anderson F.R.S. Head of Department

Professor M.P. Hassell F.R.S. Deputy Head of Department
Director, Silwood Park



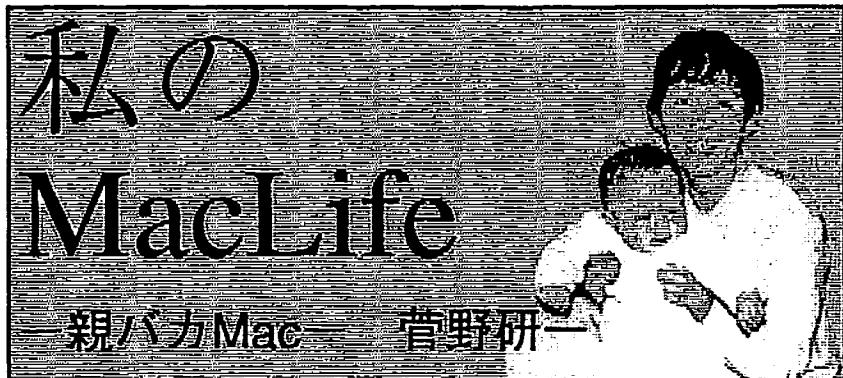
春になり、まず最初に会いに行くのはカタクリの花です。その中でも極めて珍しい白花が今年も待っていてくれるかなと、期待に胸をふくらませながら、岩洞林道の小川を幾度か渡り目的の場所に辿り着きました。5年目だし無くなっているかなとハラハラしながら目を凝らすと、有りました。生憎の低温と曇りで花は絞んで、花の一部が枯れ木で傷んではいましたが元気でいてくれました。寒くて縮こまっていたので一枚も写真には撮れませんでしたが、「待っていたよ」と言われた様な気がしてとても嬉しくなりました。以前には、他に一輪づつの白花を二箇所



で見つけましたが、どちらも無くなり現在はこの二輪だけになってしましました。この二輪は毎年遅しく育ち、人を元気づけてくれる力があるような気がします。「来年また来るから」と声をかけて帰ってきました。

白花のカタクリは見るのはそう多くはないと思っていましたが、杉村さんも同じころ別の場所で見つけたとのことで時々カタクリの話をしておりました。花の写真撮影に興味を持ち始めたばかりの杉村さんが入院されましたので、お慰めと、お見舞の意味をこめて再掲載します。





私の MacLife

親バカMac 菅野研一

マックを買う前の様子

マックを買う前は、学生時代に買った、漢字もカラーも、グラフィックも表示できない8ビットパソコンを捨て、ワープロで通信をやっていました。これがNIFTY-Serveがサービスを開始した年でした。このワープロは、通信機能を搭載したものとしては初期のもので、ログを直接ディスクに落とせなくて、メモリに貯めたものを16,000文字になる前に、手動でディスクに保存しなければならないという、しろものでした。でも使い方が簡単なので、結婚してからは妻も通信に使っていました。

マックが候補に上るまで

そんなワープロですから、3,4年も使っていると、またパソコンが欲しくなってきます。学生時代にBASICプログラム作成のアルバイトをしていた関係で、早くからフロッピーディスク(1980年代前半と言えばプログラムの保存はまだカセットテープが主流)やハードディスクの贅沢を覚えてしました。そのため、パソコンを購入するときは多少高くてもハードディスクが必要と考え、予算は充分に確保していました。

そんなある日、ノートパソコンを自宅に持ち帰り、パソコン通信を妻にやらせてみました。その時の会話です。
私「パソコン持ってきたから、ダウンドロードもいくら長くても大丈夫だよ。」

妻「ふーん」

私「つなぐときはオートログインだか

らこうして、、、」

妻「ふんふん」

私「終わるときはこうして」

妻「ふんふん」

私「この通信結果を取つておくにはこうやって、ファイル名のところに英文字か数字で8文字以内の名前、そしてピリオド付けてTXTね。あっそうそう、先頭に必ずB:¥で付けなきゃダメだよ。フロッピーに入らな

いで、RAMディスクに入っちゃうから。」

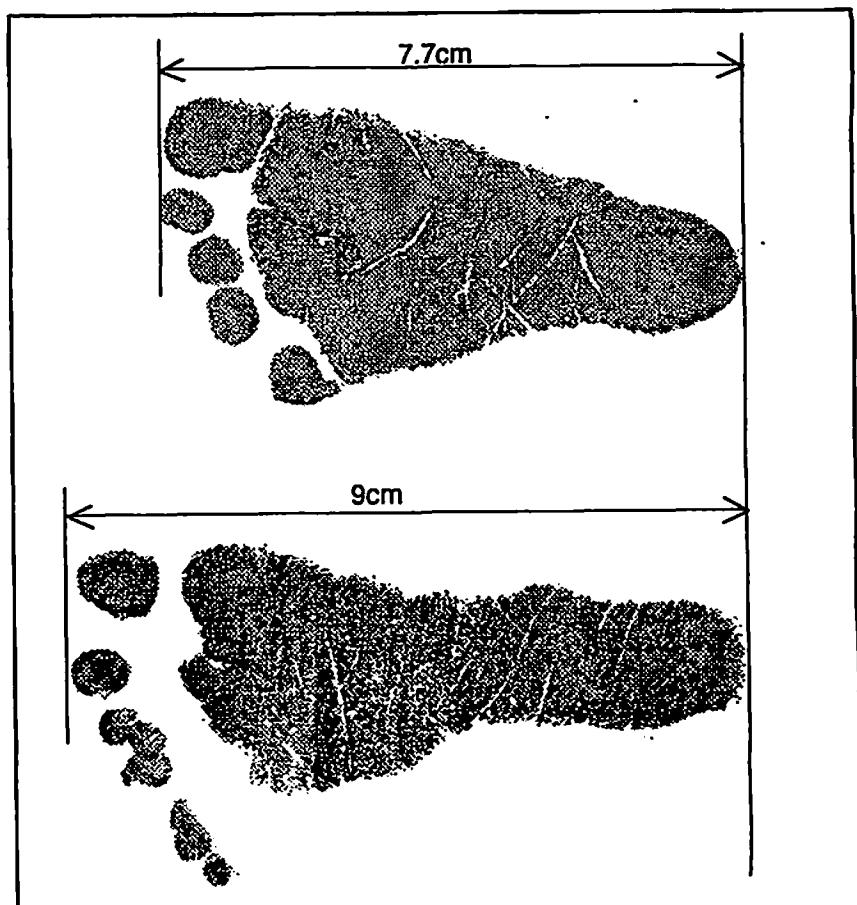
妻「なんだかワープロより面倒になるだけみたい」

私「...」

ファイル名の付け方で、説明する方もされる方も疲れ果ててしまったのです。

こんな会話のあった1990年の夏ごろ、MS-Windows 3.0が良い、という噂を聞き、日本語版が発表されるまで様子を見ることにしました。その間にPC-9801のハイレゾ版やPS55Zなどを検討していました。1991年1月、Windows 3.0日本語版がリリースされ、話題になりましたが、アプリケーションが揃うまで、かなり時間がかかりそうだということがわかりました。

「といえばマックという手もあるなあ。最近安くなってきたし、日本語も充分使えるらしいし。」マックが候



親に出す手紙に毎回成長を感じさせるビジュアルを添付して、ウケています。

補に上がったのはこの時が初めてで、それまではマックに特にあこがれや、思い入れを持っていたわけではありませんでした。

IIciになるまで

ソフトの展開は、メーカーがあまりに夢を語ってくれるため、この先2,3年はある程度予想できますから、それに対応できるようなレベルのハードウェアをそろえたいと思いました。

1. System 7になったとき、仮想記憶に対応できること。複数のアプリケーションを切り替えるためだけなら、RAMを何メガも余計につけるのはもったいない。

2. カラーにしておいたほうが何かとよさそう。せめてグレースケールくらいは。

3. 音も入れてみたいけど、オプションを買うのはいやだ

このあたりの条件から、当時新モデルだったIIciを中心としたシステムとしました。現在の構成はIIci (SMB RAM /80HD), Nu-Busアダプタカード, 13"モニタ, DeskWriter, My Scan Grayです。

標準的なMacLife

マックにしたのは大正解だったようです。使い方も簡単だし、前出のファイル名の問題も、マックでは自由度が高い一方、Windowsではファイル名の問題はMS-DOSのときとなんら変わっていなかったのです。

使い道としては、通信、家計簿、住所録、ゲームなど、家庭用としては普通の使い方をしています。家計簿は生協の共同購入やクレジットカード利用分などの、後で請求が来る分があるので、それ(借金?)を常に把握できるようにしてあり、毎日欠かさず使っています。住所録は封筒に印刷するときに、データベースソフトでグラフィックまでプリントできるので重宝しています。

システム構成は、妻も使いますので、標準的なものにしています。変わったものを付けると、「マニュアル

見てね」では済まなくなりますから、説明する人は苦労が増えます。このあたりは職場にマックを設置される方と同じ苦労があることと思います。

親バカツール Macintosh

今年1月、第一子が誕生し、マックは「親バカツール」になっています。スタートアップスクリーンは娘の写真、アラートサウンドは娘の声。この前など、イメージスキャナで足型を読み込み、出生時と最近のを並べて比較したものを親(おじいちゃん・おばあちゃん)に送ったら大受けしました。キッドピクスも買ってあるんですが、今はもっぱら大人用です。子供の勉強用に、CD-ROMドライブも買おうと言っているのですが、こちらは妻のOKが出ません(^_^)。

学校にマックが入る

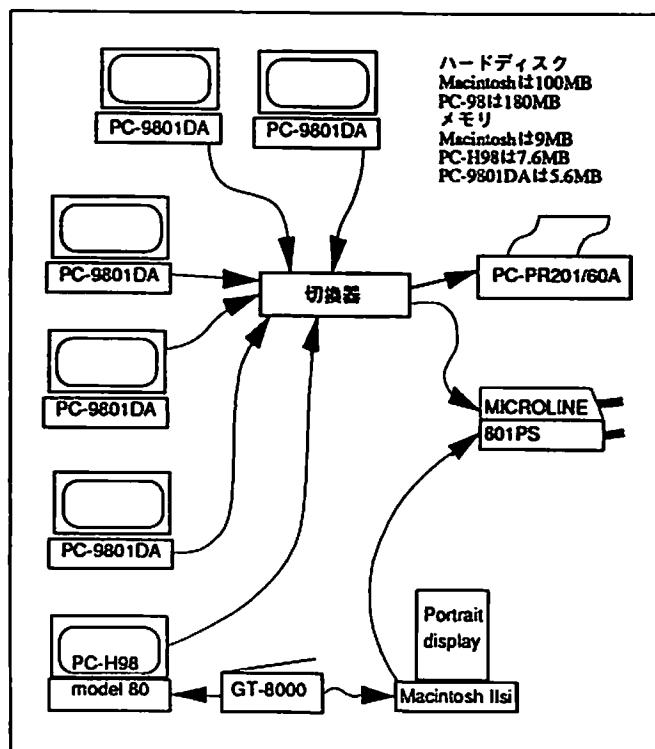
今年度職場の短大に教育用のDTPシステムが入りました。既設のシステムとの関係があり、マックは1台のみで、他は6台のMS-Windowsマシンです。しかもそのうち、いわゆるハイレゾ機は1台のみで、5台は640×400ドットの画面に、16ドットの文字でメニューとタイトルバーが鎮座しているのです。

ページメーカーで、全体表示から実サイズに切り替えると一瞬何事が起こったかと思います(上マージン2cmと左マージン2.5cmの部分だけで画面の半分近くが埋まる!)マックが1台ないとDTPは使い物に

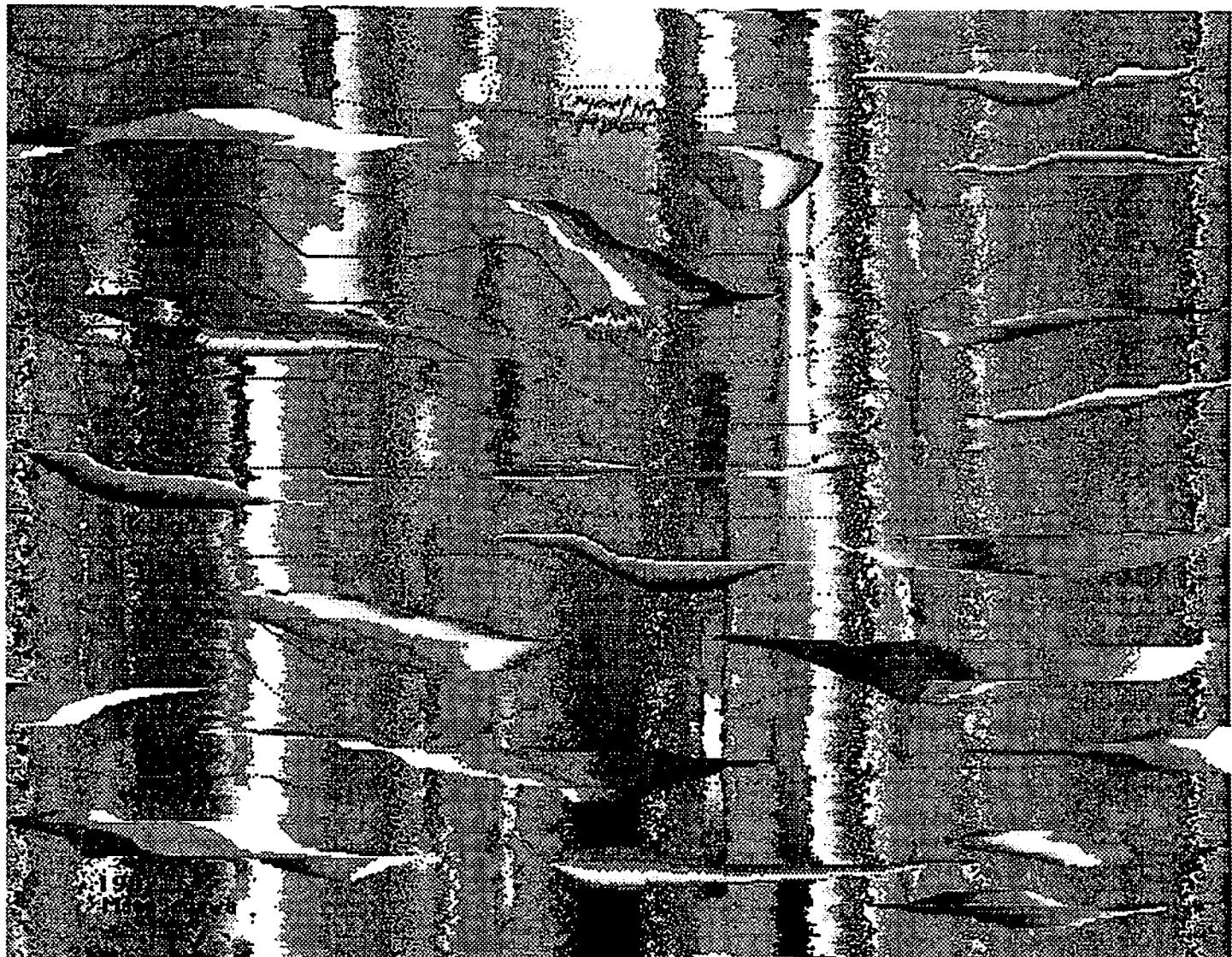
ならない!と脅かしてシステムに加えました。実際、イラストを描いたり、画像の読み込み・加工、数式の入力などはマックでしかできません。簡単なシステム構成図を描いたのでご覧ください。5月下旬から試験的に授業に取り入れるので、機会があればその様子を報告したいと思っています。

最後に

このように私はマックを意識してから1年程度、買ったマックもやっと保証期間が過ぎた程度の初心者です。にもかかわらずこんなところに2ページも文を書かせてもらつてありがとうございます。皆さんの参考になるようなことも書けませんので、思いついたことを並べてみました。今後も皆さんのお話を参考に、「沿岸のマック伝道師」をつとめたいと思います。どうぞよろしくおねがいします。



林檎ギャラリー



by 瀬川昌男

使ってみました

MOディスク

川村渴真

前回林檎の「MO（光磁盤）」が「オプティカルドライブ」を完結で導入され、現在は既に導入済みなので使用感をまとめてお送りします。

「MOディスク」そのものの説明は前回の「MO（光磁盤）」で詳しく説明されていますので、ここではその他の問題についてお話しします。

驚かれて

先に林檎19号にて「Macでお仕事」と題して会社でのMacの仕事ぶりを紹介しましたが、今回のMO導入はその延長線上にあります。前の記事を読んでいない方のために簡単に紹介しますと、私の会社でのMacのお仕事の一つに「カラーCMテロップ制作」があります。サイズ100mm×125mm、解像度200dpiのテロップは2.3MBという大きなデータになり、200MBのハードディスクも瞬く間に一杯になります。頻繁には使わないが必要な時には直ぐに使いたいデータを保管管理し、又他のマシン（場所）を持って行こうとしても、FDには簡単には入りません。解決のキーは「持ち歩きが可能な大容量記録媒体」です。現在市販の物で実績が有るのは、「リムーバルハードディスク」「ポケットサイズハードディスク」「MOディスク」が有ります。読み書きの早さを少し我慢すれば、10MB当たりの価格は「MOディスク」が一番安いでしょう。今回購入したSONY製3.5吋の場合、ドライブにMO(128MB)が1枚付属して235,000円、インターフェイスが39,000円で、容量追加は7,900円のMOを買うだけで128MBずつが手に入ります。1GB(128MB×8枚)では235,000+39,000+7,900×7=329,300円となります。余談ですが39,000円のインターフェイスキットは、フォーマッタと自動マウントINITそれにSCSIケーブルだけです。フォーマッタはSilverliningがいいと川村渴真さん

がMACPOWER 6月号に書いていましたので、Silverliningを持っていればインターフェイスキットを買わないで済ますことも可能です。つまりSONYのドライブは基本的にMac用に作られていると言ってもいい程です。ちなみにPC-9800シリーズで使うには54,800円のインターフェイスボード(SCSIボード)を98側に装備する必要がありますが、Macと98の両方を持っている方は便利です。フォーマトの時パーティションを切ると、なんと1枚のMOにAppleとMS-DOS両方のボリュームを持てるとの事です。

持ち運びを考えた場合は構造的に一番安全な様な気がしますし、3.5吋のFDと全く同じサイズで少し厚いだけという事は、手にした時、誤着する時、とても快適です。

使ってみたら

MOは読み書きが遅いということでしたが、書き込みがやや遅いなど感じる程度で、読み出しはハードディスクとあまり変わらないように感じました。試しにハードディスクの代わりにPhotoshopの作業用ディスクとして使ってみましたところ十分使えました。

会社での現在の用途は、「システムホルダのバックアップ」「画像データの保管」「画像ライブラリのバックアップ」などに使用しています。画像を扱わない部署では「部専

用ボリューム」としてMOディスクを購入しました。部門毎、あるいは個人毎の専用ハードディスクの代りは十分努めます。現在のところメーカー間の互換性が不十分ですがそのうち解決すると思います。そうなるとこれ迄無かった互換性のある携帯媒体としての便利さが提供されます。（互換性他の詳しいことはMACPOWER 6月号に川村渴真さんが書いています。）

まとめ

昨年のM.M.M (Meat The Mac In Morioka) の時、盛岡駅に東京からの参加者を迎えるにあたって、川村渴真さんが私の車に乗り、安比迄の道ながら他の方々との会話の中にMOディスクが出てきました。これから雑誌(MACPOWER 1月号)に執筆するためにテスト中、ということで大変貴重な内容のお話を伺うことが出来ました。当時は3.5吋MOの製品の数も少なくMOと言えば5.25吋が巾を効かせていましたが、川村さんのお話を聞いている間に「これからは3.5吋MOの時代だ」と直感し、製品の動向を見ていきました。5.25吋も容量が大きくて(512~650MB)それなりの目的には捨て難いものが有り今後も3.5吋と共に存するものと思います。現在5.25吋のMO媒体は大容量ハードディスクの代わりに専用の機器で応用され、放送関係の映像や静止映像・音声の記録用として多く活躍しています。今回は1組の方が記録容量が大き過ぎて無理があることから選定理由の一端です。

おどに、メーカー間の互換性は不十分な事ですがドライブをOEM供給しているメーカーであれば互換性は有る」という理由(予想)でSONYに決めてみました。

仕事に使いますので念のため2台購入しました。

記・編集





岩手MAC友の会には、情報交換の場として毎月の例会がありますが、月に一度では時間の制約もあり、また、解からないことをすぐ聞けないということがあると思われます。

そのため岩手MAC友の会では、連絡手段としての盛岡市BBSを利用させていただいている。

すぐに応答が得られるパソコン通信と「百聞は一見に如かず」の例会を共に利用することで、皆さんのMACLIFEを充実いただけることと思います。

盛岡市のBBSにMAC用のコーナー「MAC IN TALK」ができたのは、岩手MAC友の会の設立より早く、当時は野村会長をはじめ、福田さんや千葉の中島さんなどごく小数の情報交換の場でした。その後徐々に利用者が増えてゆきましたが、最近は皆さんペテランになってしまって、また、パソコン通信そのものが珍しいものではなくなって、初步的なことは書き込まれなくなっていました。あのころの熱気をもう一度という願いもこめまして、最近友の会に入会された方々の為に、盛岡市BBSの申込の方法と未経験の方へパソコン通信の勧誘です。

盛岡市BBSのほかに、プログラムなどの転送専用に岩手電子計算センターのBBSも利用させていただいている。このNETは会報VOL3NO1で紹介されていますが、会報をお持ちでない新しい会員の方に問い合わせ先のみ下記でお知らせします。

通信の経験のある人は

次のどちらかで申し込んでください。

2 郵便

1 ゲストID（会員番号）でアクセス

電話番号 0196-25-8044

ゲスト会員番号 00GST001

パスワード AA

設定は、全二重、データ長 8、ストップビット 1、parity 無、フロー制御 X-ON でログインし、システムオペレータ [会員番号 98OP0001] あてにメールで申し込みます。

必要な事項は、氏名、生年月日、性別、住所、勤務先、希望パスワード、使用機種（MACと書くとMAC用のIDをもらいます）です。

020 盛岡市内丸12-2

盛岡市企画調査課

パソコン通信担当あて

1と同じ必要事項を記載し申し込んでください。特に様式はありません。

会員登録が完了しますと、会員番号と利用ガイドが送付されます。

※岩手電子計算センターBBS(ICS-net)問い合わせ先

(株) 岩手電子計算センター

行政システム部ICS-net事務局

020 盛岡市松尾町17-8 TEL 0196-51-2626

はじめての人は

パソコン通信を始めるには、MACは当然のこととして、モデム、通信ソフトが必要です。

モデムは、コンピュータの信号（つまり文字やプログラムなどのことです）を電話回線で送ることができるように信号を変換するものです。通信の速度や通信のエラーを訂正する手段により様々な種類のものが発売されていますが、2400bps、MNPクラス5という仕様のものが現在の標準のようだ、大体3000円前後で入手できると思います。さらに、FAXの送受ができるものまでありますが、本稿の主題をはずしますので省略します。（実は良く知りません。）

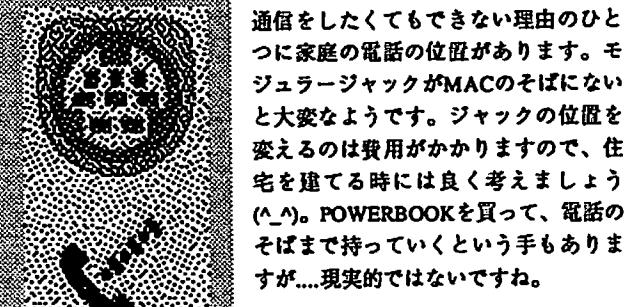
モdemの接続方法は、図のとおりですが、通常発売されているモデムに添付されているケーブルはMACには使えませんので、別にMAC用のモデムケーブルを入手する必要があります。（最近はMAC用のケーブルを添付したものも発売されているようです。）

通信ソフトは、市販されているEG-TALK（今もあるのかな？）やパブリックドメインソフトのNinjaTerm、ASLTalkなどがあります。後者の2つは無料ソフトですが機能は揃っていますので、どちらかを入手すれば十分です。ただ、NinjaTermにはオートログインの機能がありませんのでAutolog-Jなどのログイン用ソフトを、また、ASLTalkにはファイル転送機能がありませんのでTurboDL-Mなどのファイル転送ソフトを併せて入手してください。両者とも現在通信を利用している会員の誰かが必ず持っているものですから、例会で希望すればすぐにCOPYしてもらえる筈です。

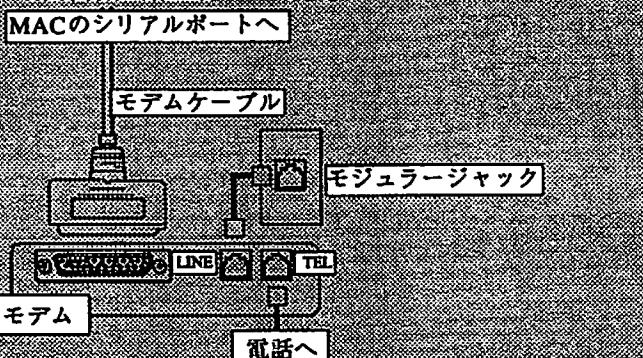
盛岡市BBSには会員の福田さんがHyperCardで作成したHYPER TERMという専用の通信用スタックがあります。このスタックは、ボタンをマウスでクリックするだけで、電子メールや掲示板を読む、メールを送る、掲示板に書くなどの作業を全自动で行ない、さらに、読み出したものを掲示板ごとに分けて保存して見出しまで一覧表にしてくれるというすぐれものです。かつて雑誌「MacPower」にも紹介された友の会の有名ソフトです。例会で福田さんに声をかけば、これもすぐにいただけるものだと思います。

通信を行なうためには、モデムを操作するためのATコマンドというものを覚えなければなりません。ATコマンドは電話をかける、回線を切るなどという作業をコマンドを打ち込んで行なうのですが、最初はこれを覚えるのが面倒なものです。HYPER TERMでは、盛岡市BBS向けに福田さんが設定してくれていますので、会員番号とパスワードを所定のフィールドに書き込んでおくだけで、後は何も考えずに通信内容だけに専念できます。HYPER TERMで通信に慣れてから、他のソフトも試して見るのがよいのではと思います。

特にこの程誕生した初心者分科会の皆さんには、通信を始めることをお勧めします。HYPER TERMを福田さんにいただいて、すぐにでも申し込んではいかがでしょうか。ちょっとした疑問にもベテランユーザーからの回答をもらえますし、分科会員相互の情報交換のほか分科会開催のお知らせなども郵送の手間が経ずにすぐに行なうことができます。HYPER TERMを使うことで、HYPER CARDの勉強にもなりますし。



通信をしたくてもできない理由のひとつに家庭の電話の位置があります。モジュラージャックがMACのそばにないと大変なようです。ジャックの位置を変えるのは費用がかかりますので、住宅を建てる時には良く考えましょう(^_^)。POWERBOOKを買って、電話のそばまで持っていくという手もありますが....現実的ではないですね。



最近書き込まれた照井副編集長の賛辞です

話は変わって、野村会長のApple情報はとても助かります。このBBSだけ見ていれば最新のニュースと、アドバイスが手に入るのでMacユーザーにとっては、日本一のBBSではないでしょうか。MIXというハイレベルのBBSは知りませんが、大手商用BBSの内容はこのBBSを見ていればそれ程大した内容は見たことがありません。せいぜいPDSがその利用価値でしょうか。





私にはパーソナルコンピューター通称マイコン、パソコンと言われる道具はお化けのような物であった。しかし怖いもの見たさと、ショットだけ流行に触れてみたいと思うこともあった。

by 神 達宏

初めてのDTP

昭和59年頃、同業のI氏の呼びかけで岩手医大教養部の数学教室の主催するパソコン教室に参加するようになった。国産O社製8ビットのコンピューターの前に正座して厳かに電源を入れる、コマンド***リターン、しばらく待つ、次のコマンド++++リターン、フロッピーディスクを丁重に厳かに差し込む。#####の画面が出現したら。。。このような調子で授業が進んだ。私にとってこの機械は、キーボードのお化けであった。しかも、アルファベット一文字入力ミスをするとまったく動かない。そして、講師達の講義の最終目的はどうも、プログラミングが出来るようになる為の知識技術、つまりアルファベットの講義をしていることに気が付いた。つまりこの機械を動かすために私はこんなにも多くの苦労をしてコマンド、アルファベットを覚えなければならぬのだ。この機械は総て、70万円相当のセットだそうで、面積、体積、円周率を計算するだけに自分の大切な時間を浪費しているようだ。70万もあるこいつは、文句は言わないが、動かない。動かすことには非常に複雑な手順を必要とする。アルバイトの人間に70万円も払えば、掃除、お茶飲み、原稿の清香、大抵の用事をしてくれる。しかし、コンピューターは、何にもしてくれない。

●結論1：ネクラな キーボード遊びは高くつく。ヤーメタ。

昭和61年 営業上どうしても、パソコンを導入しなければならなくなってしまった。診療報酬請求業務を電算化することに決心したが機種選択について、色々迷い、ソフトを改良追加することが可能であるという機種に決めた。これがまたしても、業者に騙されてしまった。私が考へているプログラムとは、全く別もの。バグだらけで、バグをすべて私の資料から埋めていく羽目になっていた。最終的に、受付事務の子が作業出来るようになるまで

に私自身がソフトの端から端まで目を通すことになっていた。以来私はキーボードに触れないようにしている。コンピューターの業界はチョンボがまかり通る社会らしい。当時の技術ではこんなモンカナ！

●結論2：モニターにカッコ良く入力しているが、8ビット カッタルイことこの上なし。所詮 電卓付きの紙芝居



ディスクライターCでカラー印刷した表紙

知的 自転車との出会い

平成2年 ジョブスの自伝を読んだ。アップルを作り上げて、会社から追い出された。面白い人間像、愉快なそして偉大なアメリカの物語。マッキントッシュ！

平成3年 旧宮古街道の一里塚に出会った。元々私の趣味はカメラなのである。写真撮影のついでに子供と父親の関係を保持すべく、いやがる息子を引き連れて旧道を歩いた。初めは、写真集を作るつもりでいたが、製本、出版費用があまりにも高額なので完全に諦めてしまった。街道の写真はある、道中の記録もある。これらの資料をどのように料理しよ

うか？ついにここからマックの出番となつた。

中年オヤジがOA機器を使う？マック買ってDTP！これには一大決心が必要なのだ。まず第一に優秀な家庭教師がいるか？次に良心的な業者が近くにいるか？資金元の理解が得られるか？そしてもっとも重要なこと。この私に、理解力があるか？行動力があるだろうか？

今まで、家庭教師には、同業の徳富さんがイルジャナイカ。良心的な業者は大学に行けばわかるはず、医局の2、3も覗いてみれば、簡単に答えが出るだろう。取り扱い店 ご町内にアルアル。木津屋さんがあるじゃない。そんだけ、花巻の先生サ 電話スペイ。無理矢理 徳富先生と木津屋の杉村氏を家庭教師にしました。

平成3年の11月 マックが来た。EGカードに原稿をインプット終了が12月初め頃。12月中旬にクォークが来た。12ページのクォークエクスプレスはディスクライターCでは、印刷不可能だった。

クォークが悪いのかディスクライターが悪いのか、いまだに不明だ。ここにも、宣伝文句とは違う真実があった。コンピューター業界の麻薬不思議な体质を見せつけられた。とにかく、ユーザーは弱い。

平成4年1月に富士フィルムのDS-100スタイルカメラが届いた。このカメラでカラープリントをコピーしてマックに入力する。いろいろ試行錯誤の結果、最終的にはクォークで版を26枚作り上げた。つまり1ページにつきフロッピー1枚が必要になってしまった。なぜなら、ディスクライターCは、クォーク上の2ページを印刷することが出来ないのである。このように一里塚物語を製作する行程を簡単に述べてみた。

本を一冊手作りすることができたが、いまだにキーの位置を探している。



編集

例会案内

7月18日(土)

14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所: 盛岡市中央公民館

例会案内

8月22日(土)

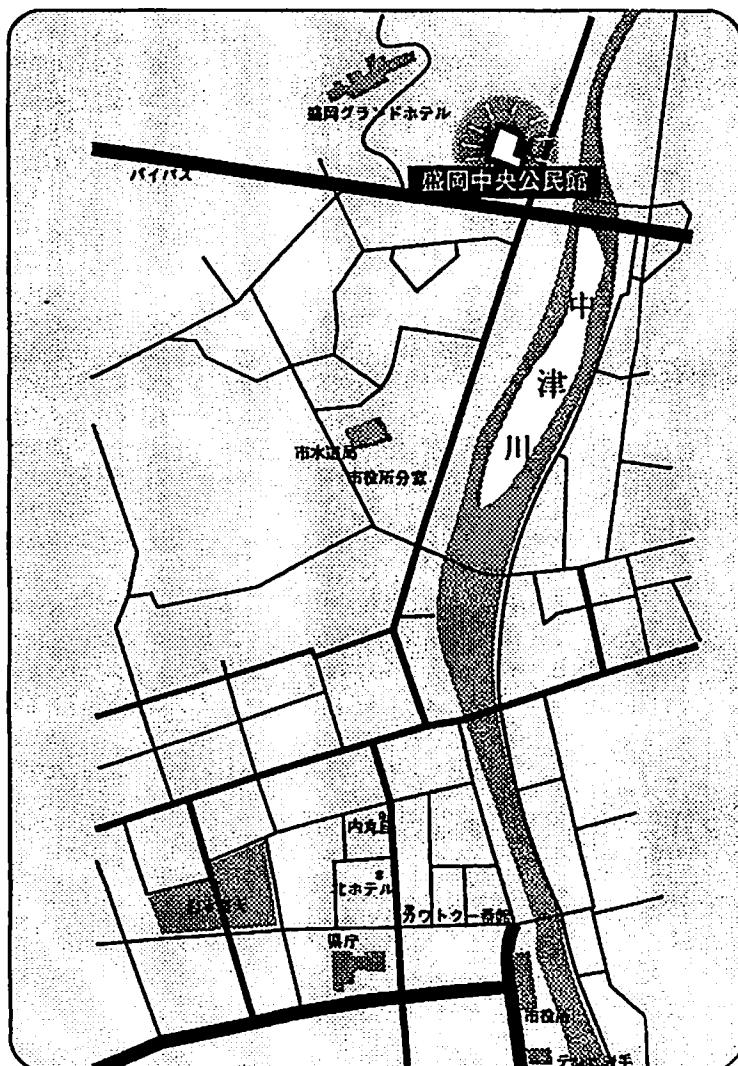
14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所: 盛岡市中央公民館

そろそろまた、
MMMの季節が近づ
いてまいりました。
御意見御希
望や企画をお持
ちの方は、どしどし
御連絡下さい。



「林檎」21号 は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	Digital Darkroom
EG-Bridge	EG-Word
Freehand	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	QuarkXPress
SoloWriter	StreamLine
SuperPaint	

等で作ったものをPageMaker でま
とめLaserWriter, Microline でプリ
ントしました。

1992/6/20 第21号

発行 岩手Mac友の会

代表 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品